



第 2 回小学校家庭教育学級研修会

平成 28 年 9 月 6 日 (火)
市民会館 301

市内の全小学校に開設されている家庭教育学級においては、全校を対象に年 3 回の研修会を行っています。例年、第 2 回目は、事務連絡とともに、子育てについての学びの場として、講演会を実施しています。

本年度は、明治大学教授 諸富 祥彦先生をお招きし、『子どもの心がみえますか』という演題で、ご講演をお願いしました。「親としてどのように子どもに寄り添っていったらよいか」「子どもに言ってはいけない言葉」「男の子と女の子の育て方」など、具体的な事例をまじえたユーモアたっぷりのお話に時間の経つのも忘れてしまうほどでした。話の合間に、他の学校の学級生との情報交換の場があったり、一緒にパフォーマンスをしたりと、学級生同士の交流を深めることもできました。

終始笑いの絶えない和やかな雰囲気の中での講演会でしたが、随所に子育てに関する大切なヒントが提示され、大変有意義な時間を持つことができました。

演題：『子どもの心がみえますか』

講師：明治大学教授 諸富 祥彦 氏

《子育てで気をつけたいこと》 ～講演のなかから～

- イライラ・カリカリを子どもにぶつけない。(イライラしてきたら、自分からその場を離れる)
- 子どもの話を肯定的に聞く。
- 兄弟や姉妹と比較しない。
- 親は子どもの安全基地に！

《参加者の感想から》

- 親の心、子どもの心に寄り添ったお話が聞いてよかったです。
- 心と心のふれあい＝「リレーション」について学ぶきっかけを作っていただきました。
- 子育てにおいて「した方がよいこと」をするよりも「してはいけないこと」をしっかりと覚えることが大事だということが良く分かりました。